

プロになりたい人と仕事が欲しい人のナビゲーション・マガジン

通訳翻訳

2012
WINTER

<http://www.tsuhon.jp>

ジャーナル

まだまだチャンスはある!

産業翻訳の世界に 飛び込もう

求人情報
アリ!

業界地図付 産業翻訳の基礎知識
& 需要右肩上がりの注目ジャンル

- 産業翻訳プロフェッショナル・インタビュー
- 仕事が途切れない人の職務経歴書とは?

平成23年度

通訳案内士試験

第一次試験解答&解説

模擬問題付き

国際会議のウラ側に迫る!

Report

UIA2011東京大会世界建築会議

Special Interview

翻訳者 灰島かりさん

誌上翻訳コンテスト

医薬編 結果発表 & 児童書編 課題文掲載



プロになりたい人と仕事が欲しい人のナビゲーション・マガジン

通訳翻訳

2012
WINTER

<http://www.tsuhon.jp>

ジャーナル

まだまだチャンスはある!

産業翻訳の世界に 飛び込もう

求人情報
アリ!

業界地図付 産業翻訳の基礎知識
& 需要右肩上がりの注目ジャンル

- 産業翻訳プロフェッショナル・インタビュー
- 仕事が途切れない人の職務経歴書とは?

平成23年度

通訳案内士試験

第一次試験解答&解説

模擬問題付き

国際会議のウラ側に迫る!

Report

UIA2011東京大会世界建築会議

Special Interview

翻訳者 灰島かりさん

誌上翻訳コンテスト

医薬編 結果発表 & 児童書編 課題文掲載



翻訳は専門校で学ぶ



フェロー・アカデミーは、1975年創立の
伝統と実績を誇る翻訳の専門校
目指すジャンルやライフスタイルに合わせて
年間約200講座の中から学べます

通学講座【総合翻訳科】(全日制で集中的に学ぶ)

- カレッジコース(週5日・1年) ● フリーランスコース(週3日・3カ月)

通学講座【単科】(昼間・夜間・土曜、週1回の通学で専門的に学ぶ)

- 翻訳入門(週1回・6カ月) ● 基礎・実践・ゼミ…実務翻訳コース／出版翻訳コース／映像翻訳コース／複合講座

通信講座(好きな時間、好きな場所で学ぶ)

- 翻訳基礎<ステップ24> ● 実務翻訳<ベータ> ● ベータ応用講座 ● はじめての出版翻訳 ● 出版翻訳講座
● リーディング講座 ● はじめての映像翻訳 ● 映像翻訳<吹替と字幕> ● ジャンル別上級講座<マスターコース> ● e英語

お申込み・詳細はWebにて
ピックアップ
受講生募集中
総合翻訳科「カレッジコース」2012年度生
総合翻訳科「フリーランスコース」1月期生
単科「翻訳入門」1月期生



**学校説明会／
体験レッスン**
「フェローでどんなことが学べる
の?」「実際の授業の様子が知り
たい」という方におすすめです。

お申込みは
Webサイトから!



仕事のサポート

アメリアは、翻訳に関わるすべての
人を応援する翻訳者ネットワー
ク(有料)。業界情報や仕事のチャ
ンスを提供します。

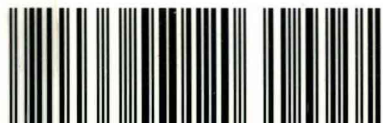
資料のご請求・お問い合わせは Web サイトまたはフリーダイヤルで

<http://www.fellow-academy.com>

☎0120-024-240 〈電話受付 平日 9:00-21:00
土曜 9:00-17:30〉

翻訳の専門校 フェロー・アカデミー

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-5-6 翻訳会館
地下鉄青山一丁目駅から徒歩3分、乃木坂から徒歩7分



4910063550120
00952

雑誌コード06355-01

定価1000円

Printed in Japan

本体952円

通訳翻訳

ジャーナル

2012
WINTER

C O N T E N T S

4 業界の最新情報をお届け
PICK UP TOPICS

●翻訳 ●通訳 ●新刊

8 こんなところにもお仕事発見!!
通訳・翻訳ワーク アラカルト
第12回 ロックフェスティバルの通訳

10 *Special Report*
国際会議のウラ側に迫る!
UIA 2011東京大会 第24回世界建築会議

18 *Special Interview*
翻訳者 灰島かりさん
子供といっしょに読むのが楽しい。

22 *大特集*
まだまだチャンスはある!
**産業翻訳の世界に
飛び込もう**

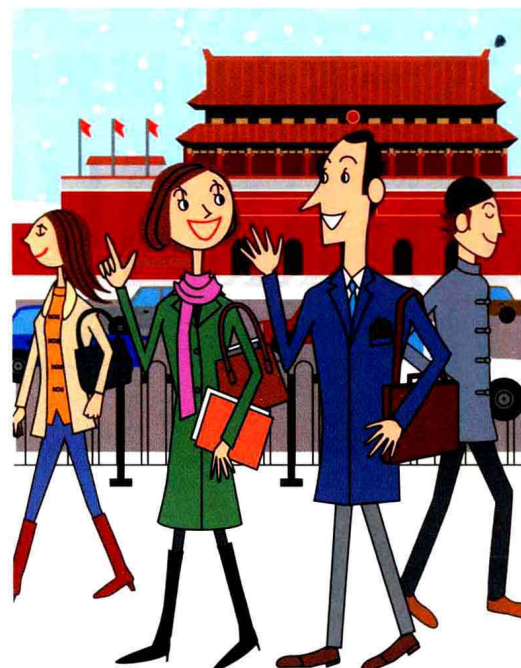
*業界地図&仕事内容 産業翻訳の基礎知識
*今、注目のジャンルはここ! ジャンル別 需要&仕事解説
*若手翻訳者の稼ぐコツ プロフェッショナル・インタビュー
*売りになる経歴は? 職務経歴書の書き方
*SDL Trados Studio 2011習得法
ただ今募集中! 翻訳会社の最新求人情報

63 誌上翻訳コンテスト
医薬編 結果発表&講評

69 誌上翻訳コンテスト
児童書編 課題文発表

78 めざすなら知っておきたい!
通訳ガイドのイマとこれから

106 平成23年(2011年)度
**通訳案内士試験
第一次試験(英語・社会科) 解答&解説
模擬問題付き**



125 *EMPLOYMENT* **求人情報**

SERIAL ARTICLES

- 110 英語翻訳のプロたちが綴る 後進への招待状
ようこそ! 日英・英日翻訳の世界へ
- 112 Tool de Honyaku
デジタル翻訳者の道具箱【山本ゆうじ】
*最終回
- 114 いま何が売れているのか?
翻訳出版社最前線 科学出版社東京(株)
- 116 ビジネスパートナーエージェントを探せ!
(株)リンクトランス・サイマル
- 118 翻訳者の仕事・千里の道も一歩から
【赤池ひろみ】
- 119 字幕屋通信 酔眼亭夜話【太田直子】
- 120 New Books カバンに1冊おすすめの新刊
- 121 資格試験カレンダー
- 130 TSU ★ HON INFORMATION

在

日の日系ブラジル人
数約6万人を含む、
20万5千人もの外

国人が暮らしているという愛知県では、在日の外国人がより住みやすい日本になるように、とさまざまな行政サービスに力を注いでいる。中でも彼ら外国人の高齢化とともに必要性が増してきているのが、医療サービスだ。

医療通訳の必要性をどこよりも痛感している県が、試験的ながらも、今年誕生させたのが「あいち医療通訳システム」。県内の3大学（愛知県立大学、名古屋外国語大学、愛知大学）と連携し、英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語の医療通訳者を育成、派遣しようという試みで、10月1日に待望のシステム運用開始となった。①通訳の派遣、②電話通訳、③翻訳サービスの3本柱を軸に、言葉の壁を取り払い、外国人にもより住みやすい県となるよう、サービスを提供する。

通訳派遣は「日常的な診療・検査に対応する通訳」「インフォーム・コンセントなど高度な通訳」「特定の曜日・時間帯など定時の通訳」の3パターンに分けられている。すでに初日から「あいち小児保健医療総合センター」での利用があり、火曜日から

土曜日の5日間、それぞれ異なる言語の通訳者が受付に座る「定時通訳派遣」を行うことになった。ここでは、実際の利用者からも感謝の言葉があがっているそう。また、24時間、365日対応の電話通訳や、医療機関への紹介状や問診票を翻訳してくれる翻訳サービスについても、反応は上々。

登録通訳者は89名 継続運営にも意欲的

これらの対応をする通訳者たちは、応募者の中から語学能力試験をパスした人で、今年の7月～8月に7日間、36時間をか

けて、医療知識や通訳技術の研修が実施された。英語29名、中国語20名、ポルトガル語18名、スペイン語22名の計89名の通訳者が登録済み。開始後1カ月の10月末時点では、4言語とも同じくらいの利用者数とこの。

●あいち医療通訳システムが利用できる協定医療機関

医療機関名	住所	電話番号
協立総合病院	愛知県名古屋市中区五番町4-33	052-654-2211
中部ろうさい病院	愛知県名古屋市中区港明1-10-6	052-652-5511
社会保険中京病院	愛知県名古屋市中区三栄1-1-10	052-691-7151
トヨタ記念病院	愛知県豊田市平和町1-1	0565-28-0100
豊田厚生病院	愛知県豊田市浄水町伊保原500-1	0565-43-5000
三九朗病院 *原則として外来には対応しません。	愛知県豊田市小坂町7-80	0565-32-0282
豊橋市民病院	愛知県豊橋市青竹町八間西50	0532-33-6111
成田記念病院	愛知県豊橋市白河町78	0532-31-2167
豊橋医療センター	愛知県豊橋市飯村町字浜道上50	0532-62-0301
豊川市民病院	愛知県豊川市光明町1-19	0533-86-1111
一宮市立市民病院	愛知県一宮市文京2-2-22	0586-71-1911
あいち小児保健医療総合センター	愛知県大府市森岡町尾坂田1-2	0562-43-0500
新城市市民病院	愛知県新城市字北畑32-1	0536-22-2171

*あいち医療通訳システム

<http://www.aichi-iryou-tsuyaku-system.com/> TEL 050-5814-7263

能で、2012年3月までは原則、患者負担はなし。通訳者に対しては、交通費も含めて2時間で3000円～5000円が支払われている。医療通訳の必要性が叫ばれているながらもボランティアに依存する部分が多い現状で、こうした試みは大きな一歩だと言えるだろう。

このシステムを推進している愛知県多文化共生推進室の大橋さんは「来年度以降も予算が通ればぜひ続けていきたい」と語る。今後の運用状況や医療通訳者募集関連情報は随時HPをチェック！

Interpreter

愛知県内13カ所の医療機関でいよいよ始動開始！ 「あいち医療通訳システム」

2012年1月、丸の内に新たな外国人向け観光拠点がオープン

日

本政府観光局（JNTO）が運営する外国人向けの総合観光案内センター「ツーリスト・インフォメーション・センター（TIC）」が、新たに丸の内に新拠点を構える。現在、東京・有楽町の東京交通会館10階にあるTICでは、訪日外国人旅行者に対する旅行案内や、外国語観光案内パンフレットや地図等の提供など、旅行者のサポートを行っている。交通手段、ショッピング、食事など東京観光の案内だけでなく、日本全国の観光情報を提供している。利用者は主に個人旅行者で、年間約3万人、1日1000人程度の観光客が訪れるという。

利便性アップと情報発信の強化を図る

JNTOは、独立行政法人改革にかかる事業見直しの一環として、TICの運営を三菱地所（株）に委託。来年1月2日より、同社が運営する新東京ビル「丸の内カフェ」の1階部分を改装してオープンする。ショッピング街の丸の内仲通りに面し、JR、地下鉄5路線からのアクセスも可能な好立地で展開することで、利用者の利便性向上を図る。

TICオープンに合わせ、「丸の内カフェ」2階部分も「新・丸

の内カフェ（仮称）」としてリニューアルし、民間企業とのコラボレーションによる訪日外国人向けのセミナーやワークショップ、ギャラリー展示などを開催する予定。無料PCの設置や観光関連図書スペースの設置も予定しており、丸の内、東京、そして日本の魅力発信拠点としてのサービス拡充を目指す。

またTICは、全国311カ所に設けられている「ビジット・ジャパン案内所」*のナショナルセンターとして、各案内所との情報の共有や職員の研修等の支援も行っており、こうしたネットワークを生かした日本全国の観光情報の発信も強化していく方針だ。

さらに、TICを利用する外国人旅行者の日本旅行に対するニーズや動向を調査するマーケ

ティングも引き続き行い、観光の情報基地としての機能を果たしていく。

現在は、TICのスタッフに加え、ガイドボランティア組織である東京SGGクラブの会員もカウンター案内業務を行っており、移転後も継続される。観光拠点として外国人旅行者の助けとなるサービスの向上と、インバウンド・ツーリズムの活性化に期待したい。

*各地の観光案内所のうち、外国人旅行者に対応できる案内所としてJNTOが指定。2011年9月末現在。



丸の内仲通り



新TICイメージ

*日本政府観光局（JNTO）<http://www.jnto.go.jp/jpn/>

●新TIC概要

名称：JNTOツーリスト・インフォメーション・センター（TIC）
所在地：東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル1階
面積：85.8㎡（26坪）
営業時間：9：00～17：00（休館日：1月1日）
オープン予定日：2012年1月2日（月）
内容：日本全国の観光情報の提供
運営受託者：三菱地所株式会社

第48回 日本翻訳文化賞決定

N

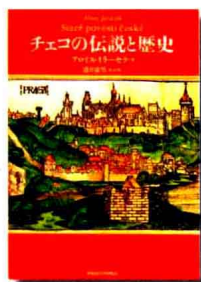
PO法人日本翻訳家協会が、翻訳文化促進のため毎年実施している「日本翻訳文化賞」および「日本翻訳出版文化賞」の本年度受賞作品が決定。日本翻訳文化賞は、過去1年で最も優れた翻訳をした翻訳者に対して贈られる賞。日本翻訳出版文化賞は、過去1年間で最も優れた翻訳書を刊行した出版社に贈られる。

今年の第48回日本翻訳文化賞は、『チェコの伝説と歴史』（アロイス・イラーセク著、北海道大学出版会）を訳した浦井康男さんと、『カリブ海偽典』（パトリック・シャモワゾー著、紀伊国屋書店）を訳した塚本昌則さんが受賞した。第47回日本翻訳出版文化賞は、『慈しみの女神たち』上下2巻（ジョナサン・リテル著、菅野昭正他訳）を刊行した集英社と、言叢社『プリミティヴアート』（フランツ・ボアズ著、大村敬一訳）、藤原書店『身体史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』（アラン・コルバン他監修、鷺見洋一他監訳）の3社に贈られた。

『チェコの伝説と歴史』は、チェコ文学の古典が初めて邦訳され、馴染みのない日本人にもわかりやすいよう詳細な注釈を付けるなど配慮された作品。『カリブ海偽典』はクレオール（カリブ海の雑種文化）作家によるフランス文学。



「カリブ海偽典」
パトリック・シャモワゾー著
塚本昌則訳
紀伊国屋書店
6,930円（税込）



「チェコの伝説と歴史」
アロイス・イラーセク著
浦井康男訳
北海道大学出版会
9,450円（税込）



「慈しみの女神たち」(上・下)
ジョナサン・リテル著
菅野昭正、星望守之、篠田勝英、有田英也訳
集英社
上 4,725円 下 4,200円（ともに税込）



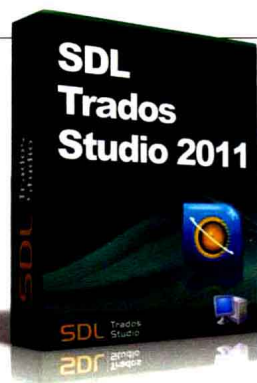
最新版「SDL Trados Studio 2011」発売！

翻

訳支援ツールの中で、多くの翻訳会社、翻訳者の間で使われている翻訳メモリーツール「SDL Trados」の最新版「SDL Trados Studio 2011」が9月28日にリリースされた。前回「SDL Trados Studio 2009」からおよそ2年ぶりのバージョンアップだが、2009年版の作業画面や基本操作を引き継ぎながらも、翻訳作業の高速化、効率化を図るために新機能が加わっている。

新機能の一つである「変更履歴機能」は、これまでは訳文を修正する際、どの言葉を修正したのか記録できなかったが、センテンスのどの箇所がどのように変更されたかが表示されるようになっていた。自分で「○○を○に変更しました」といったコメントを付ける必要がなくなり、作業時間の短縮につながる。また、文書単位で過去の訳文と比較し、文脈を含めて原文が一致すれば自動反映する「Perfect Match」機能や、これまで直接扱えなかったワードバイリンガルへの対応、リアルタイムでの文字数表示などをはじめとした生産性を高める機能が新搭載されている。

その他、最新版の細かい特徴や習得法については本誌48ページから解説しているのでぜひ参考にしてほしい。



*製品概要

- 法人向け「Professional」
新規購入価格360,000円
2009 Professionalからのアップグレード価格90,000円
- 個人向け「Freelance」
新規購入価格110,000円
2009 Freelanceからのアップグレード価格30,000円
- 個人向け「Starter Edition」
年間10,000円
（「Freelance」の機能を限定した低価格バージョン）
- SDLオンラインショップ（個人向け製品）
<http://www.translationzone.com/jp/translator-shop/>
- 法人向け製品のお問い合わせ
TEL: 03-5773-1471
Eメール: sales-jp@sld.com

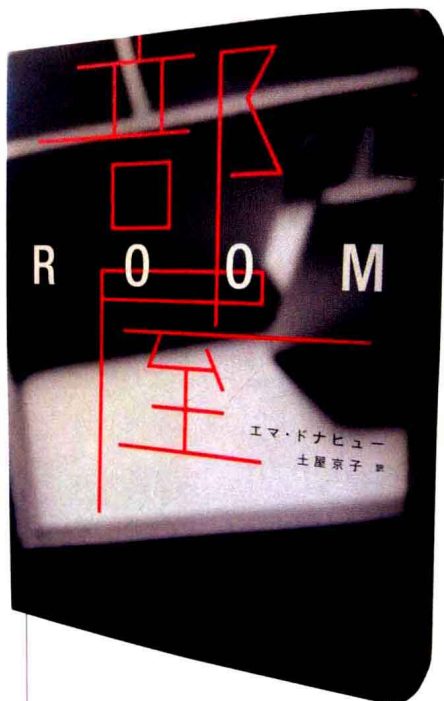
Book

～ 訳者が語る作品の魅力 ～

・訳者 PROFILE・

土屋京子

(つちや・きょうこ) 東京大学教養学部卒。翻訳家。訳書に、チアン著『ワイルド・スワン』(講談社)、チアン&ハリデイ著『マオ』(講談社)、コールマン著『EQ〜こころの知能指数』(講談社)、ウィルクス著『グワイナー家の物語』(シリーズ(福音館書店))、バーネット著『秘密の花園』(光文社)、ローリングス著『鹿と少年』(光文社)、ライク著『匿名口座』(講談社)、ウェルズ著『ヤァヤァ・シスターズの聖なる秘密』(早川書房)など多数。



部屋

■エマ・ドナヒュー著
■土屋京子訳
■講談社
■2,625円(税込)

5

歳になる男の子の1人称小説だ。その文章に、初めは戸惑うかもしれない。

一般小説の言葉が舗装道路なら、主人公ジャックの言葉遣いはでこぼこ道。幼い子供だからという理由はもちろんあるが、それ以上に彼が生まれ育った環境によるところが大きい。彼が馴染んだ「世界」は、普通の人が知る世界とほんのちよつとだけ似ていて、まるで非なるもの。ゆえに彼の考え方や言語感覚は独特のものとなり、言葉もまた独特のものとなる。そんな言葉遣いだけで著者は500ページ弱を押し切り、見事な作品に仕立ててみせた。

基本的にはジャックと母親の関係を軸に話は進む。構成を分けるとすればA、B、Cの3部。味付けを変えてAとBのみを描けばおそらくサスペンスに、同様にCのみを描けば(大雑把に

言って) 社会派になっただろう。だが著者の主たる狙いはそこにはなく、だからこそすべてを子供の目線から描いた。

ジャックの語りに慣れてしまえば、あとはもう引き込まれるだけ。ジャックというフィルターを通して、ある「異様な状況」も、当たり前の世界も、そして言葉さえも、まったく違った角度から光が当てられる。「ものの見方」とはよく言うが、それによって「そこにある現実」がこうも変わってしまうとは。

一語一行に、可笑しさや驚き、ときに哀切がある。ジャックが聞く大人の言葉を通して、社会への批判や問題提起もうつすらと見えてくる(あくまで背景として)。彼の成長と母の立ち直りを示したラストもいい。ここまでどつぷり子供に付き合ったのは初めてだが、気持ちよくK.O.された。(金田まさひろ)



訳者からのコメント

**人間の強さを信じ
生きることに對して
前向きになれる作品です。**

原書を初めて読んだときから、「訳文はこのトーンで行こう」というアイデアが明確にありました。もちろん読者は活字を目でたどるわけですが、「目からはいつてくる」5歳児

のおしゃべり”をあたかも耳で聞いているように感じられる文章で表現する」というのが、本書を訳す際にいちばん心を砕いた点でした。

特殊な環境で育った主人公ジャックがどんな言語感覚を持っているかを想像し、この作品独自の表現ルールを作り、それに則って訳文を書きました。子供言葉を表現

するために、文章を書くうえで“してはいけないこと”を満載した訳文を作ったので、校閲の方々は苦勞されたと思います。

物語は残酷な状況設定なのですが、この小説から感じられるのは、人間の可能性や精神力の強さです。また、あどけない男児の語りに織り込まれた伏線が次第にグロテス

クな現実へとつながっていくスリラー的要素も非常に巧みです。

できれば、訳者あとがきなど見ずにいきなり本文を読んでください。「そういうことだったのか!」と、新鮮な感動に心を打たれ、かつ、呆然とするはずです。

(土屋さん談)

こんなところにも **お仕事発見!!**

通訳・翻訳ワーク

á
a
c
a
r
t
e

第12回

アテンドとステージ 通訳業務は主に2つ

年1回開催される大規模な音楽イベント「FUJI ROCK FESTIVAL」今年も7月29日～31日に新潟県苗場スキー場で開催され、11万人を超える来場者が集まった。国内のアーティストを含め、3日間で100組以上が出演、うち約80組の海外アーティストが来日。その裏では多くの通訳者が活躍していた。

毎年FUJI ROCKの通訳者全員の手配・管理を請け負っている通訳グループ、サブリンガル・サービスの代表、エイブラハム・レビンさんに話を聞いた。サブリンガル・サービスは、フリーの通訳者5名による集まりで、大型の音楽イベントなど

の場合はグループとして仕事を請け、分担して通訳を行っている。FUJI ROCKでの通訳業務は主に2つ。アーティストに付いて回るアテンド通訳と、ステージ周りを専門に担当するステージ通訳があり、今年度は70名のアテンド通訳と5名のステージ通訳が参加した。

アテンド通訳では、基本的に1組のアーティストにつき1名の通訳者が振り分けられ、来日から帰国まで担当アーティストに付いて通訳を行う。アーティストの滞在は平均3～4日間、アテンド通訳の大きな役割は、日本にいる間の全体のケアやスケジュール管理だ。オンタイムに彼らが集合し出発できるかどうか、行き先はもちろん移動バスの待機場所や、人数が揃っているかなど、常に周りを見

て気を配る。通訳者と言っても「アシスタント・マネージャー」の要素が強く、加えて「ベビシッター」の要素もある」とエイブラハムさんは話す。アーティストがストレスなく、よりよいパフォーマンスができるように彼らがリラックスできる雰囲気や環境をつくり、彼らの外出時などには臨機応変に対応する。

一方ステージ通訳は、ステージ周りのスタッフとアーティストの間に立って音響、照明、その他電気機器など舞台装置の指示出しやリクエストの通訳を行う。こちらは数が少なく、1ステージにつき1名が担当する。

音楽の知識よりも 人間性が問われる

FUJI ROCKは

イベント成功の裏に通訳者あり
アーティストのケア、スケジュール管理も行う

ロック フェスティバル の通訳

海外の多数のアーティストが一堂に会し、音楽業界のビッグイベントである夏フェス。中でも代表的な「FUJI ROCK FESTIVAL」を参考に、その裏で通訳者がどのようにイベントの成功に関わっているのかを探った。

■お話

サブリンガル・サービス

Abraham Levin さん (右)

(エイブラハム・レビン)

大石千枝さん (左)



こんなスキルが必要です！

アテンド通訳は 執事的な役割 まず人間が好きであること

アテンド通訳に必要なのは、人付き合いが好きであることです。通訳希望者には履歴書を提出してもらいますが、TOEICのスコアなどの基準は特に定めていません。それよりも実際に会ったときの印象のほうが重要です。いくら通訳の技術が高くても、前に出過ぎたり、よくない印象を与えてしまう人は難しいですね。通訳に留まらず、いわば「執事」のような役割であるため、サービス業に携わったことのある人も向いていると思います。「People person」という言葉があるとおりに、毎回違う人たちを相手にプロとして対応するには、人間付き合いがうまく、人間好きの人でないと続かないと思います。ステージ通訳の場合は音楽の知識は必須なので、舞台制作の経験やバンド経験があるといいですね。

音楽フェスティバルの通訳は過去のつながりや紹介が多いため誰かの後ろ盾があると大きいですが、興味のある人は直接イベント主催者に問い合わせるのがよいと思います。主催者から「こういう希望者がいた」という話を受けて採用するケースもあるので、積極的に情報を集めてコンタクトを取ってみてください。(大石さん)

サブリンガル・サービス
http://www.sublingual.biz
〒156-0043
東京都世田谷区松原1-42-11
松葉荘8号室
TEL:03-6750-4499



TOTAL COMMUNICATION COORDINATION
translator interpreter coordinator production



[Japanese / English]

SUBLINGUAL SERVICES

1-42-11-8 Matsubara, Setagaya, Tokyo 156-0043, JAPAN
+81 363 6750 4499 / services@sublingual.biz

Copyright©2011 sublingual Inc. All Rights Reserved

FUJI ROCK FESTIVAL '11の会場(左)と通訳のスケジュール表(右)。延べ11万人が熱狂するイベントの裏では、アーティストの来日～本番～帰国までの全行程をアテンド通訳が管理。



© Masanori Naruse

DONAVON FRANKENREITER			
DATE	LOCATION	TIME	STATUS
12/23	Frankfurt	18:00	Check in hotel
12/24	Frankfurt	18:00	Check in hotel
12/25	Frankfurt	18:00	Check in hotel
12/26	Frankfurt	18:00	Check in hotel
12/27	Frankfurt	18:00	Check in hotel
12/28	Frankfurt	18:00	Check in hotel
12/29	Frankfurt	18:00	Check in hotel
12/30	Frankfurt	18:00	Check in hotel
12/31	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/1	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/2	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/3	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/4	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/5	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/6	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/7	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/8	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/9	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/10	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/11	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/12	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/13	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/14	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/15	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/16	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/17	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/18	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/19	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/20	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/21	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/22	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/23	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/24	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/25	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/26	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/27	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/28	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/29	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/30	Frankfurt	18:00	Check in hotel
1/31	Frankfurt	18:00	Check in hotel

SMAASHという音楽イベント会社が運営しており、サブリンガル・サービスはSMAASHから依頼を受けて、通訳者の手配を行う。出演者リストが揃い始める5月末に通訳者リストを基に一斉メールを送り、希望者を募る。通訳者のほとんどはリピーターや紹介が多く、男女比率は半々。年齢は30代が中心だが、10〜50代まで幅広い。フリーの通訳者の他、音楽が好きで語学が得意な一般企業の会社員、学生など本業もさまざま。日本在住の外国人も1〜2割程度いる。フランス、スペインなど英語圏以外から来日するアーティストもいるが、そうした場合もコミュニケーションは英語で行われる。

6〜7月にかけて通訳者のスケジュールを固めていくが、アーティストの来日スケジュールが出揃わないと予定が組めないため、最終的に通訳者の分担や動きが決まるのは本番1週間前。通訳者全体を集めてミーティングを行うのは開催の4、5日前とギリギリになるという。その際イベント全体の説明や通訳時の気を付けるべき点などを伝える。注意事項は、「ハウレンソウ(報・連・相)」と3つの「り」——「目配り・気配り・先回り」だそう。

「アーティストを安心させるには問題なく会話が出来る語学力は必要ですし、音楽に関する知識もある程度必要ですが、アテンド通訳であればそれほど深い専門知識は必要ありません」とエイブラハムさん。それよりもしっかりとアテンドできるかという人間性が重視される。一方で、ステージ通訳には専門性が必要だ。音楽機材の固有名詞などは回数を重ねるうちに慣れるというが、さらに装置自体の仕組みや電力関係などについても知っていないと出来ない。

楽しむ観客の 様子がやりがいい

主催側がプランニングしたものを実行に移す側のフェス通訳。FUJI ROCKなら、3万人が歓声を上げている姿を目の前で見られるのが一番のやりがいです」と話すエイブラハムさん。イベントを作るには音楽関連の翻訳や、最近では日本人アーティストのコーディネートも行っている。出会いや経験から可能性が広がっていく分野だ。

国際会議の
ウラ側に迫る！

世 界中の建築家が参加する職能組織連合、UIA（国際建築家連合）。3年ごとに世界各地で開催されている大会の、第24回開催都市に選ばれたのは東京だった。124の国や地域の建築家たちによる組織は、現在約140万人の建築家と、それを目指す約50万人の学生によって成り立っている。

ある「DESIGN 2050」は、2050年に向けた未来の環境・都市・建築のあり方を考えるというものであったが、震災後半年での開催ということ、「災害を克服し、一丸となつて、新しい未来へ！」という一文が追加になり、一層、世界各国の建築家たちの注目を集めた。

UIA 2011 東京大会 第24回世界建築会議

uia XXIV World Congress of Architecture

UIA
2011
TOKYO
DESIGN
2050



UIA
2011
TOKYO
DESIGN
2050

通訳者の中でも花形のひとつ、国際会議での同時通訳。多言語で専門用語が飛び交う現場では、高いスキルと豊富な経験、そして臨機応変に対応できる柔軟さや、突発的なことにも怯まない度胸も必要だ。今回は、東京・丸の内のもうひとつの国際フォーラムをメイン会場に開かれたUIA 2011 東京大会 第24回世界建築会議での通訳者の活躍ぶりを追った。

光がふりそくロビーギャラリーで

Welcome to Tokyo!!



ロビーギャラリーの一角で開かれていた「日本の匠たち展」。日本の技を実演するとともに、英語で丁寧に解説していた。



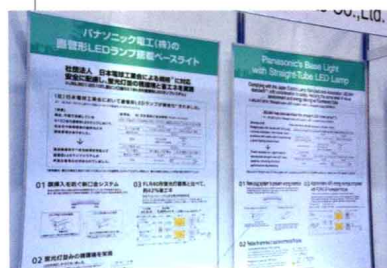
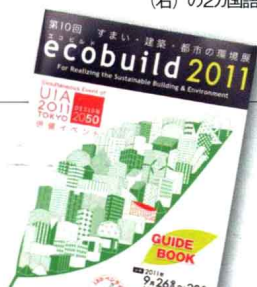
ようこそ日本へ! と出迎えるボードは、日本語(左)と英語(右)の2カ国語表記。



受付には語学の堪能なスタッフが並び、世界各国からゲストにスムーズに対応。受付のサインボードは英語メイン。

同時開催のエコビルド展でも

日本語&英語表記が主体

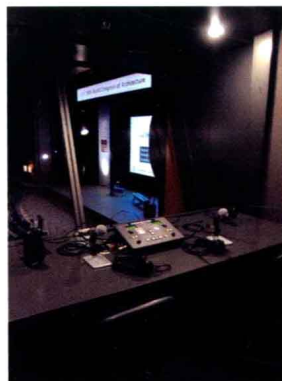


写真左/B1Fの企業ブースが並ぶ展示ホールでは、多くの企業が同じ内容を日本語と英語でバイリンガル展示。写真右/海外からの来場者の受付も担当するスタッフ。にこやかな笑顔と流暢な英語で、ゲストも安心。

UIA 2011 東京大会 第24回世界建築会議

- 大会会期: 2011年9月25日(日)~10月1日(土)
- メイン会場: 東京国際フォーラム、丸の内地区、日本橋地区

※取材は9月27日(火)、東京国際フォーラムにて実施



基調講演や特別講演の行われたメインホール(ホールA)の通訳ブース。



訪れた多くの聴講者が、レシーバーを通して、貴重な講演に耳を傾けていた。

この大会において通訳者の手配全般を担当したのは、株式会社コングレ。これまでも多くの国際会議で実績を残している、総合コミュニケーション企業だ。今大会では通訳者や語学スタッフの手配、語学ボランティアの管理、講演者のサポートをはじめ運営をトータルで請け負ったそう。

今大会は会期7日間で基調講演が3つ、特別講演が4つ、テーマセッションが5つ、その他公開プログラムや論文発表、ワークショップなど多くのイベントがあり、日本在住の通訳者と、海外から来日した通訳者を合わせて27名が活躍。UIAで公式言語とされている英語・フランス語・ロシア語・スペイン語を中心にした通訳となった。

従って、講演が日本語で行われる場合には、まず英語に訳し、それをフランス語やスペイン語等他言語に訳すというリレー同時通訳を実施。日英/英日の通訳者には、全聴講者へのタイムラグを少なくするために、短時間での確に訳すことはもちろん、他言語の通訳者にも理解しやすい英語でアウトプットするという、高いスキルと瞬時の判断力が求められる。

現場では、経験豊富な通訳者たちが見事に各自の仕事をこなし、訪れた聴講者も真剣な眼差しで講演に聞き入っていた。

木原詩子さんは、UIA2011で活躍する日英／英日通訳者の一人。トップクラスの会議通訳者がそろう今回のメンバーの中でも、技術系分野を得意とし、エージェントが厚い信頼を寄せる人材である。

大会会期3日目となる9月27日、木原さんの一日に密着取材させていただくとともに、UIA2011の通訳業務の特徴などについてお話を伺った。

通訳者 interview

技術だけでなく 哲学やアートの要素もある 建築の世界は 多様で興味深いです

英語以外の
言語については
英語を介した
リレー通訳で対応

通訳の世界では「最高峰」とも言われる会議通訳の仕事。これだけの規模の国際会議は、通訳者を志す人にしてみれば夢のまた夢の大舞台であるが、木原さんのようなトップクラスの同時通訳者にとっては「日常」であり、春と秋の繁忙期には国際会議の仕事が続くことも多い。UIA2011についても「普段通り」と話す木原さんに、気負いは見られない。通訳歴24年、平常心で臨めるのも、経験のなせるワザなのだろう。

「不安要素は特にありません。比較的

ゆとりのあるスケジュールなので、気分的に楽かもしれませんね。会議によっては、もつときついスケジュールになることもあります」

緊張するのは、日本語から英語を介して他の言語に通訳するリレー通訳になるとき。UIA2011では、英語以外の言語と日本語の間の通訳は英語を介するリレー通訳となっており、例えばスピーカーがフランス語で話したときは、木原さんたち日英／英日通訳者は英仏／仏英の外国人通訳者の英語訳を聞き、日本語に訳す。

「英語訳を聞いて日本語にするのはいいのですが、問題は日本語のスピーカーのとき。私たちの英語訳を聞いて、外国人通訳者がフランス語やロシア語に訳すことになるので、やっぱり緊張してし

まいますね。普段よくスピーカーの方に『はつきりゆくりしやべってください』とお願いするのですが、リレー通訳では私がスピーカーの立場になるわけですから、はつきりゆくりしやべるよう、いつもより意識しています」

通訳環境は整っているが、唯一、メインホールの日英／英日通訳者の通訳ブースから会場が見えないのが難点だ。

「多言語のため通訳ブースが足りず、通訳ブース並びの小部屋が日英／英日通訳者のブースにならなくて、そこからは会場が見えないんです。モニターが2つあり、それぞれ会場全体とスクリーンが映るので、それを見ながら通訳しますが、壇上の様子まではよく見えず、例えばスピーカーがスクリーンを指したとき、どこを指しているかまで

今回の日英／英日通訳者のブースからは会場が見えないが、「珍しいことではない」とのこと。モニターを見ながらの通訳となる。



いつも持ち歩いています!

通訳者のお仕事道具

オペラグラス

会場のスクリーンを見るのに使うが、たいていは資料が手元にあるか通訳ブース内にスクリーンを映すモニターがあるので、実際にオペラグラスを使うことはあまりない。

のどあめ

今は大根しょうが、宇治茶など和風テイストがお気に入り。

電子辞書

携帯でも調べものができるため、パソコンは出張のときだけ持っていく。

ミネラルウォーターのペットボトル

他の通訳者も持参していることが多いので、チャームなど目印になるものを付けておく。



イヤホンのプラグ

会場の機材に合わせて付け替える。ステレオ用、モノ用など数種類。

資料類をまとめておくクリップ。

キッチンタイマー

同時通訳は複数の通訳者で15分交替というふうに時間を決めて行うため、タイマーが必要になる。木原さんはキッチンタイマーの音をOFFにして使っている。

イヤホン

通訳ブースにはヘッドホンが用意されているが、「長時間つけていると頭が痛くなるし、自分の声が聞こえにくい」ため、マイ・イヤホンは必需品。「高性能なイヤホンを持っている通訳者の方もいますが、私は好きな雑貨屋さんで買った、ごく普通のイヤホンを使っています」。

事前準備はあまりしていない。というのも、資料がなかなかそろわず、2日目、3日目のセッションについては、資料がないまま会場入りしているから

固有有名詞がカギになるため直前の打ち合わせでも綿密に確認

はわからない。それに、スピーカーの顔が見えないと何となく不安で、やりにくいですね」といいます。とはいえ、「通訳ブースから会場が見えないのは珍しくはない」とのこと。モニターがあれば、通訳のパフォーマンスに直接影響することはないようである。

だ。数時間後に控えるこの日の午後のセッション「ネットワーク時代の建築家像と建築家の職能」も、具体的な中身はわからないという。「通訳者としては当日使用するスライドだけでも事前に見ておきたいのですが、講演者の方も多忙なスケジュールのなか考えぬいてスピーカーを準備されるので、打合せ直前までスライドを作っている方も珍しくありません。今回は事前に手に入らなかったため、前日にインターネットでスピーカーのお名前を検索し、その方の専門分野や実績をひととおり調べておきました」

資料がない場合は、セッション直前の打ち合わせが勝負になる。打ち合わせの時間は各セッションの直前1時間である。資料がない場合は、セッション直前の打ち合わせが勝負になる。打ち合わせの時間は各セッションの直前1時間である。

9.28 クリスティアン・ファン・デル・グーペ

9.28 9:00-10:00 Session 28 (Wed)
Topic: International Forum, Hall A

当日のプログラム。自分が担当する講演のページには付箋を付けて。

「例えばスピーカーの発音は『ライモンド』と聞こえるのに、日本語では『レイモンド』と表記するというようなこと

ともあります。固有有名詞は知っていれば何でもないのに、知らないといふのが怖いですね。打ち合わせのときにも重点的に確認するようにしています」

PROFILE

会議通訳者 木原詩子さん

(きはら・うたこ) 上智大学文学部英文学専攻卒、アメリカ・シードンホール大学大学院英語学部修了。通訳スクールに通学し、プロ科まで修了して通訳技術を修得。通訳歴24年。現在は第一線の会議通訳者として活躍中。技術系のジャンルが得意で、特に環境分野に強い。



建築の世界は広く、哲学や歴史、アーの要素もあり、難しいテーマも多いですが、多様で興味深いですね」



14:00~15:00
ブリーフィング

15:00 から始まる、この日2回
目のテーマセッションに関する事
前打ち合わせ。



11:30~14:00
休憩時間

この間にランチをとり、
次の通訳の準備を行う。

会議通訳者  木原さんの

1日のスケジュール



7:45
会場入り

会場には余裕を持って、少し早
めに向かう。この日はブリー
フィングの15分前には到着。



8:00~9:00
ブリーフィング

9:00 から始まるテーマセッションに関
する事前打ち合わせ。スピーカーと内容や登
場する固有名詞などについて、時間ぎりぎ
りまでしっかり打ち合わせをする。



9:00~11:00
テーマセッション
「これからの環境建築を考える」

コーディネーターは、日本人建築家の小泉雅生氏。パネリ
ストはドイツのトーマス・レヒナー氏、スリランカのマドゥ
ラ・ブレマティリケ氏、ギリシャのマトス・サンタムリス
氏の3名。日英/英日の通訳は木原さんとう1名の通
訳者、合計2名で担当。

音声の切り替えは
このボタンで通訳
者自身が行う。

モニターの1台は
ステージを、もう1
台はスクリーンを映
し出している。

日英/英日の通訳ブースは、
今回に限っては臨時スペ
ース。この部屋に仮設の通訳
ブースが設置された。





15:00~17:00

テーマセッション

「ネットワーク時代の建築家像と建築家の職能」

コーディネーターは日本人建築家の機橋修氏。パネリストは4名で、アメリカのジェフリー・イナバ氏、ポルトガルのアナ・トステス氏、

南アフリカ共和国のカリン・スマッツ氏、宮城県から参加の高橋和志氏。このセッションも日英/英日は2名で担当。



ブース内では、モニターや手元の資料を見ながら通訳を行う。

会場のステージ右上にある通訳ブース。ブース内では、各国語の通訳者が2名1組で通訳にあたっていた。

今回使われた同時通訳レシーバー。チャンネルを切り替えることで、日本語・英語・フランス語等で講演を聴くことができる。通訳言語の種類はスピーカーや聴衆に合わせて設定されており、セッションごとに異なる。



パネリストの4名も同時通訳レシーバーを利用。



17:30

ブース内の荷物を片付けて、この日の通訳は終了。

RECEIVERS

CH1 日本語
CH2 ENGLISH
CH3 FRANÇAIS

RECEIVERS

CH4
CH5

チャンネルはステージ横に表示。このセッションでは、1が日本語、2が英語、3がフランス語。開会式や基調講演などでは、4がロシア語、5がスペイン語。

3日間で、木原さんが担当した セッションのテーマ&スピーカー

9月26日(月)

2セッション

■15:30～16:30

●特別講演「チェコのモダニズムと日本」●講演者／ウラディミール・スラベタ（建築家・歴史家、チェコ共和国）

■19:00～21:00

●公開プログラム「若者に語る／建築とは何か」●講演者／安藤忠雄（建築家、日本）

9月27日(火)

2セッション

■9:00～11:00 ●テーマセッション「これからの環境建築を考える」●コーディネーター／小泉雅生（建築家、日本）●パネリスト／トーマス・レヒナー（環境工学、ドイツ）、マドゥラ・ブレマティリケ（環境建築家、スリランカ）、マトス・サンタムリス（環境デザイン、ギリシャ）※11:00～11:30 記者会見の逐次通訳も担当。今回は都合により中止になった。

■15:00～17:00 ●テーマセッション「ネットワーク時代の建築家像と建築家の職能」●コーディネーター／機橋修（建築家、日本）●パネリスト／ジェフリー・イナバ（建築家、アメリカ）、高橋和志（高橋工業代表取締役、日本）、アナ・トステス（ドコモ会長、ポルトガル）、カリン・スマッツ（建築家、南アフリカ共和国）

9月28日(水)

3セッション

■9:00～10:00 ●特別講演「スーパーグリーン」●講演者／クリストフ・インゲンホーフェン（建築家、ドイツ）

■13:00～14:00 ●基調講演「テーマ／サステナブルな幸福な社会のための建築」●講演者／ジグメ・ティンレー（ブータン王国首相）

■17:00～18:00 ●基調講演「日本の近代：言語、風景、集い」●講演者／榎文彦（建築家、日本）



訳者、通訳コーディネーター
Danielle Gréeさん
フランス人／スペイン在住

海外から来日した外国人通訳者も活躍！ 3～4カ国語のできる通訳者のチームで 多言語に対応しています

UIA2011では、日本人通訳者は日英／英日のみで、その他の言語については外国人通訳者がアサインされている。外国人通訳者は、フランス人のDanielle Gréeさんを中心としたチームで動いており、Gréeさんがコーディネーター兼チームリーダー兼通訳者として、通訳者の人選から当日のフォローまでを担っている。UIAの通訳の仕事に携わるのは5回目というGréeさんに、チームの編成や日本での通訳業務についてお話を伺った。

今回の外国人通訳者のチームは全部で15名。フランス、スペイン、タイ、オーストラリアなどから来日の通訳者と、日本に在住の通訳者で構成されています。

私は国際的なフリーランス通訳者のネットワーク「calliope」を主宰していますので、コーディネーターとしてチームを組むときは、各国の通訳者の中から最適な人材を選定します。通訳者を選ぶ第一条件は言語の組み合わせ。今回は英語、フランス語、ロシア語、スペイン語、ドイツ語などのうち、少なくとも3カ国語、できれば4カ国語

ができる通訳者で、建築の分野の実績のある人材を選び、多言語に対応できる体制をとっています。本来、開催地と通訳者の居住地は近いほうが望ましいのですが、今回は3～4カ国語に対応できる人を選んだこともあり、ヨーロッパやオーストラリアの通訳者も入っています。このほか、私のチームに入るには、スイス・ジュネーブにある通訳者団体「AIIC（国際会議通訳者協会）」のメンバーであることが条件の一つとなっています。

多国籍のチームですが、全員がこの仕事のプロフェッショナルであり、プロの通

訳者はチームスピリットを備えているもの。チーム内のコミュニケーションに問題はありません。私はアジアで仕事をする事が多く、どの通訳者とも、これまでに顔を合わせたことがあります。通訳者同士の相性なども把握して、チームがうまく機能するようにさまざまな配慮をするのも、まとめ役である私の仕事です。

仕事で来日するのは6回目ですが、日本の会場の通訳環境は整っていると思います。特に今回の会場はブース、サウンド、どれをとっても素晴らしいですね。